

先の 4 月 19 日(日)に行われた新試験制度 1 回目となる平成 21 年春期の情報処理技術者試験について、先月発表された IT パスポート / 基本情報 / 初級シスアド試験以外の 6 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、エンベデッドシステムスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

エンベデッドシステムスペシャリスト試験 (ES)

[平成 21 年春期のエンベデッドシステムスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	5,875 人
受験者	4,080 人
合格者	689 人
合格率	16.9%

エンベデッドシステムスペシャリスト試験は、従来のテクニカルエンジニア (エンベデッドシステム) 試験と同等のレベル、内容で実施される試験です。

新試験制度で第 1 回目の実施となる平成 21 年春期のエンベデッドシステムスペシャリスト試験の応募者は、昨年の平成 20 年春期のテクニカルエンジニア (エンベデッドシステム) に比べ若干減りました。合格率は昨春の 13.5% に比べると 3.4% 増で、過去最高の値となっています。

なお、今回の新試験から従来の午前試験が午前 と午前 の試験に分かれました。

[午前 の高度試験 共通問題]

・高度試験に共通して出される問題 30 問は、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていました。過去問題の比率は約 6 割で、新試験になったことが理由と思われるが従来より少なくなっています。

・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

問 7 (= AP 問 21) 代表的な OSS,

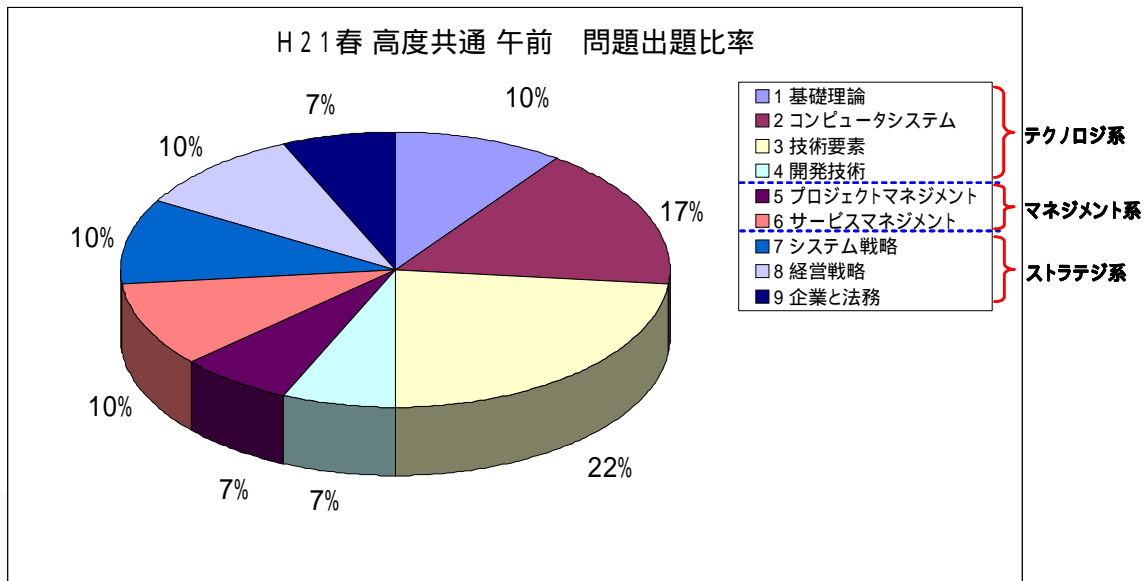
問 9 (= AP 問 25) Web ページに情報を表示する目的

問 11 (= AP 問 32) 概念データモデルの解釈 (UML 記法),

問 15 (= AP 問 41) 不正侵入のための経路 (バックドア),

問 27 (= AP 問 70) TLO 法 (大学等技術移転促進法)

平成 21 年春期の高度試験共通 午前 問題出題比率

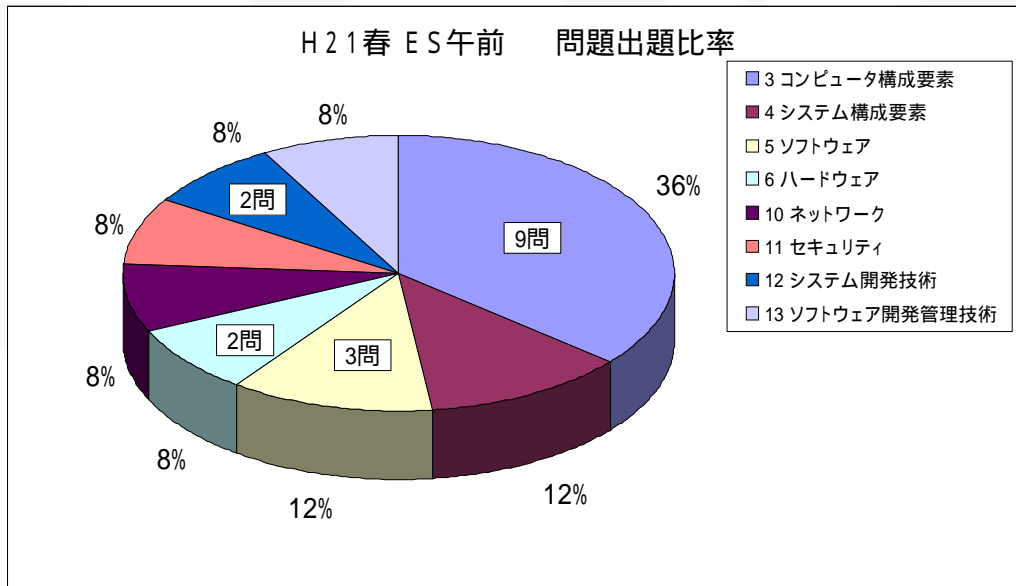


〔午前 の専門知識問題〕

午前 試験は基本的な問題が多く、エンベデッドシステム専門分野としてのハード、ソフト、システム開発関連問題が7問しかなく、このうちの5問は過去に出題された問題でした。また、ハードウェア関連の論理回路問題が出題されず、従来傾向とやや変わりました。

「問6 I2C バスの特徴」の問題が新傾向でした。

平成 21 年春期のエンベデッドシステムスペシャリスト試験 午前 問題出題比率



〔午後問題〕

- ・ 午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。今回から出題数が4問から3問に減り、解答数も3問から2問に減りました。1問あたりの設問数もあまり変わっていないので、DB試験などと違い、受験者負担は軽減されました。
- ・ 出題内容の特徴としては、従来出題されていた物理データベース設計の出題がなかったことです。全体にやや易しい問題だったといえます。

問1 電池で動作するガスメータ（ハード/ソフトウェア設計，必須） やや易

問2 マイコン制御による温水洗浄機能付き便座（ソフトウェア設計，選択） やや易

問3 ドライブレコーダ（ハードウェア設計，選択） やや易

- ・ 午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。運用関連の出題が久しぶりでした。2問とも解答分量が多く全体にやや難問題でした。

問1 携帯型インターネットテレビ（ハードウェア設計） やや易

ブロック図の穴埋め，情報源符号化データの再生処理，メモリ容量計算，電力消費軽減，動作クロック切替え，Bluetooth I/F，受信データバッファの大きさ，クレーム対策

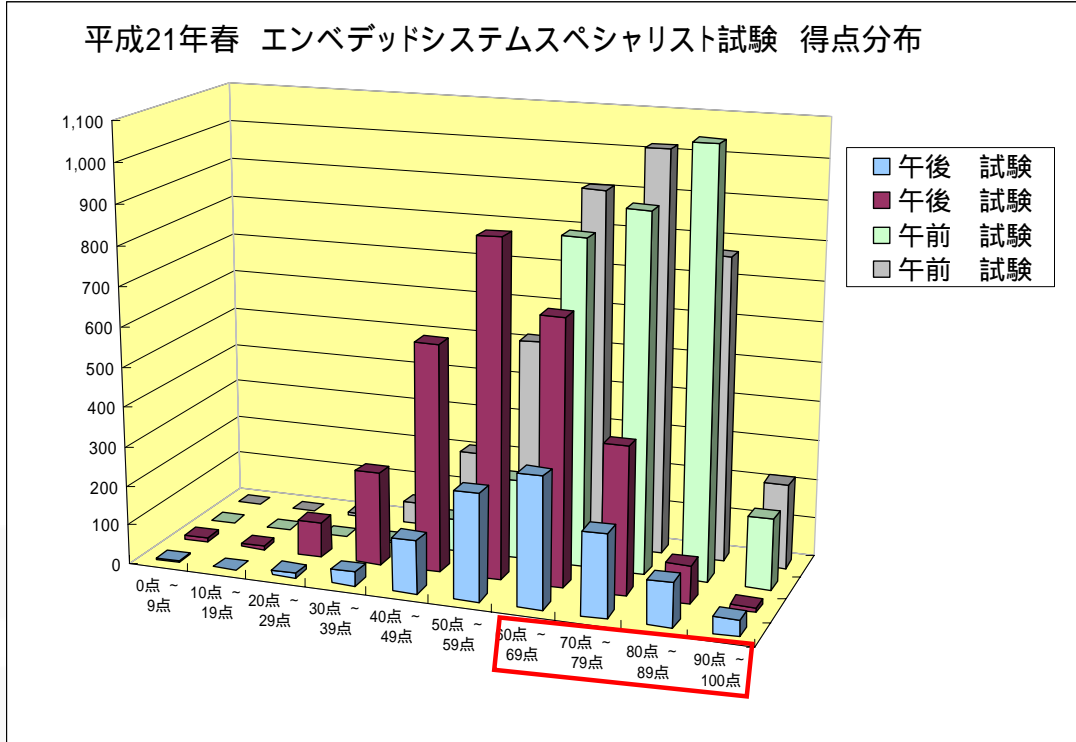
問2 画像認識を用いた駐車場管理システム（ソフトウェア設計） やや易

RTOS のシステムコール，データ送信時間の計算，ユースケース図の穴埋め，センサの状態遷移，処理時間計算，タスク利用の引数，空きエリア案内板の不具合と対策

〔平成21年春 エンベデッドシステムスペシャリスト試験 スコア分布〕

得点	午前 試験	午前 試験	午後 試験	午後 試験	合格者
0点～9点	1	0	11	4	
10点～19点	0	0	10	1	
20点～29点	9	2	88	13	
30点～39点	55	5	235	35	
40点～49点	206	82	575	135	
50点～59点	514	202	847	270	
60点～69点	909	824	668	329	
70点～79点	1,020	901	371	209	
80点～89点	769	1,069	96	110	
90点～100点	214	179	13	41	
計	3,697	3,264	2,914	1,147	689
対前試験比率		88.3%	89.3%	39.4%	60.1%
午前 免除者(概数)	352				

合格者数	689	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60点以上合計	2,912	78.8%	2,223
午前 60点以上合計	2,973	91.1%	2,284
午後 60点以上合計	1,148	39.4%	459
午後 60点以上合計	689	60.1%	0



得点分布を分析してみると、高度系共通の午前試験で基準点(60点)以上の人は2,912人(受験者の78.8%)、午前試験で基準点以上の人は2,973人(受験者の91.1%)と非常に高率になっており、問題の難易度としては全体に易しかったといえます。他の高度試験でも同じような傾向があり、今後は午前、午前試験ともに、難易度が上がっていくのではと予想されます。また、午前試験で基準点以上の人は、2年間午前試験が免除になるので、次回の午前を受ける人は全受験者の2~3割程度に減少すると予想されます。

午後で基準点(60点)以上取れた人は39.4%で、昨春のテクニカルエンジニア(エンベデッドシステム)の52.9%に比べて13%ほど下がっており、問題自体はあまり難しくありませんでしたが、得点できていないことが分かります。午後で基準点(60点)以上取れた人は60.1%で、前回の52.0%と比べて増加しています。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、専門知識分野で「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げ」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」のがよいでしょう。

今回合格された人

合格された方で秋のネットワークスペシャリストやシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を目指す方は、まず午前の専門知識について、なるべく早く試験対策を始められることをお勧めします。

新試験のシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を受けられる方は、新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。これらの試験は、午後が論述式で、合格するために第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書(基礎テキスト)は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験対策用に大改訂しています。これらすべての書籍が書店またはアイテックのWebページでご購入いただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは、教科書、問題集、模擬テスト（論文あり試験では添削含む）をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2回）を含んだ標準学習時間4か月の「速習コース」（短期コース）午後 試験免除者対象に午後問題を重点的に学習する「免除者コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は試験対策のノウハウや専門知識の理解が深まると好評を頂いており、お勧めです。締切の近いセミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

満員御礼になったコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

今回残念ながら不合格だった人

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行の新試験用のレベル3の教科書（通信教育教材）でじっくり学習しましょう。

今回の午前試験の得点が50点～59点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

また、午後試験の得点が60点に満たなかった人は、まず午前の専門知識レベルで、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたくえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「午前に出る情報技術」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト（論文あり試験では添削含む）をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2回）を含んだ標準学習時間4か月の「速習コース」（短期コース）午後 試験免除者対象に午後問題を重点的に学習する「免除者コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

満員御礼になったコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

（以上）